臺灣日日新報 昭和十八年三月十五日（月曜日） 第一万五千四百五十六號 （一）
（第二版）（開告冊一年五月九日第三種郵便物認可）

細目取極に調印

卅日を期し國府へ還付

【東京發】十四日發同盟】帝國政府は去る二月九日國府の要請を容れ汪兆銘政權の強力に關する「日華共同宣言」並に「日華基本關係の調整に關する日華議定書」に調印して之を國府へ還付したが、之等兩國間に於ける基本關係の調整に關する細目取極の締結を促進せしめ以て兩國の緊密なる提携協力の實を擧げんが爲め、二月廿日東京に於て第二回の會議を開催することとなり、我方よりは重光大使、青木大使、堀内次官、岩村東亞局長、國府側よりは周佛海中央政治委員會秘書長、陳公博行政院副院長、梅思平組織部長、林柏生宣傳部長、陳春圃實業部長、李聖五財政部長、吳紹澍外交部長、陳君慧軍事委員會委員、陳籙駐日大使、陳昌祖駐滿大使、李惟果駐獨大使、陳劍翛駐泰大使、陳仲明駐葡大使、陳介駐瑞大使、陳質平駐西大使、陳世光駐丁大使、陳錫祺駐比大使、陳籙駐日大使館參事、陳寶驊駐日大使館參事、陳鵬擧駐日大使館參事、陳鵬擧駐日大使館參事、陳鵬擧

雄大且つ公明なる共榮圏建設理念

識れ、大東亞戰の眞意

東條首相は再開議會劈頭の施政演説に於て「ビルマは今や各分野に互り復興著しきものがあり、總力を擧げて帝國に協力してゐる帝國はビルマ一人のビルマ建設の熱望に應へ、各々その所を得しめる大理想に基き年内にビルマを獨立せしめる」旨を言明した。

さきの施政方針演説に於ける言明から僅か一ケ月、再開と同時にこの重大なる發言を行ひ、ビルマ獨立の近きを告げ、我が大東亞共榮圏建設の理念が如何にビルマ人を感激せしめたか、ビルマの一指導者の口を通じて如何に全ビルマ人の熱烈なる感謝の意を表明したかは既に報道された通りである。

マライ、ジャワ、比島等がビルマ獨立實現の一環として續々獨立しつつあることは既に周知の事實に屬するが、獨立の暁に於ける獨立國と日本との關係は如何なるものであるか、獨立國となるんとしてゐる一大國家といふべきである。

ビルマの獨立が如何なる時期に、如何なる形態に於て實現されるかは政府當局の發表に俟つまでもないところであるが、既に本誌に於ても屢々述べた如く、獨立國としてのビルマは日本と對等の關係に於て相互に獨立を尊重し合ひ、相互に援助し合ふことは勿論であるが、この場合ビルマが日本に對して負ふ義務は、獨立國家としてビルマ自身の獨立を擁護し、發展せしめるために必要なる軍事的義務であり、日本がビルマに對して負ふ義務は、ビルマの獨立を尊重し、ビルマの獨立を擁護し、發展せしめるために必要なる軍事的義務である。

ビルマの獨立が如何に大東亞戰の戰爭目的の一つであるかは、ビルマが戰爭目的の一つとして掲げられてゐることに明かなるが、我が戰爭目的の一つとして掲げられてゐるビルマの獨立は、我が大東亞戰爭の

男子も及ばぬ防空群

基隆市 明治區 近く模範訓練を公開

基隆市明治區防空群の發會式は十四日午前十時から同區内の各學校庭で擧行された、當日は朝來の雨も上つて晴天となり、區内の各町内會防空群員は續々參集、午前十時には全員整列を終つた、式は先づ國旗に對する最敬禮に續いて宣誓、訓辭、來賓祝辭、團旗授與、團旗答辭、團歌齊唱、萬歲三唱の順序で嚴肅裡に擧行された、

宣誓は第一隊長代表として同隊副隊長が「我等は大東亞戰爭の眞意を體し、擧隊一致、團結を固くし、常に訓練を重ね、防空の實を擧げ、以て皇國の安泰を期すべく、茲に宣誓す」と讀み上げ、訓辭は市長代理として市役所の某課長が「防空群は市民の生命財産を守る重大な任務を有するものであるから

皇國精神の涵養期す

新竹州 桃園、苗栗兩社の昇格要望

【新竹通信】新竹州では昨年野外教練の國防訓練の國民小社への指導振興方針に基き、昨年一月に入つて青年團の組織強化を期し、更に多數の青少年を訓練するため、大湖、竹東、竹南、頭份、苗栗、大湳、苑裏、通霄、銅鑼灣